

ARIBからの
ご案内

第48回電波利用懇話会の開催について

総務省では、平成16年2月から、「デジタル情報家電のネットワーク化に関する調査研究会」（座長：羽鳥光俊 中央大学教授）を開催し、今後の社会生活の利便性の向上につながるものと期待されているデジタル情報家電のネットワーク化の推進に向けて、総合的な推進方策等の検討を行ってきました。

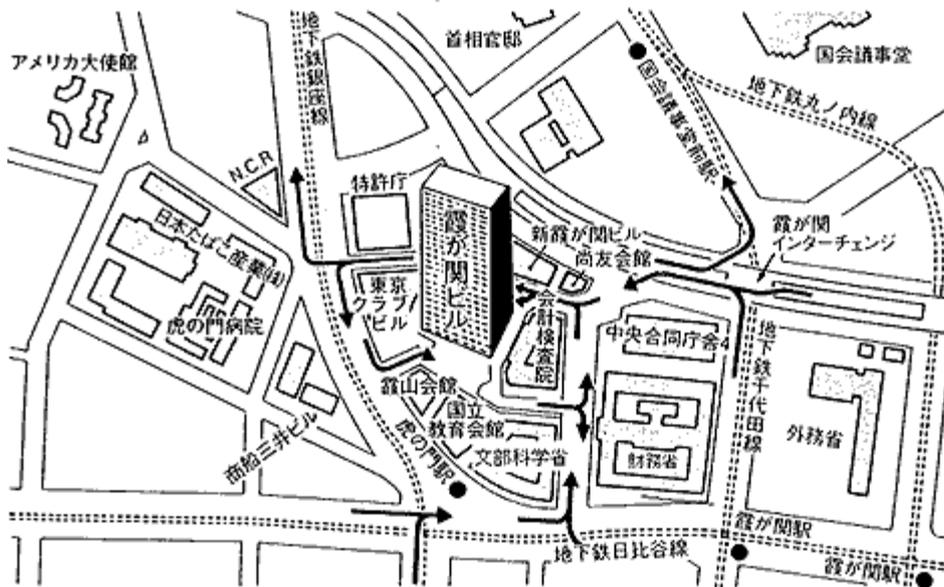
このたび、本調査研究会において、実現に向けた課題や今後の推進方策等が報告書にとりまとめられました。

当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる同報告書について、総務省から講師をお招きし説明していただくこととし、下記により第48回電波利用懇話会を開催することといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

- 1 日時： 平成16年10月29日（金）午後2時から4時まで
- 2 場所： 東海大学校友会館望星の間（霞が関ビル33階）
東京都千代田区霞が関3-2-5TEL:03-3581-0121
- 3 題名： 「デジタル情報家電のネットワーク化に関する調査研究会」報告書について
- 4 講師： 総務省 情報通信政策局通信規格課
課長補佐 杉野 勲 様(予定)
- 5 参加者： 120名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 申込先： 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで。
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)
- 7 参加費：
- 8 会場案内：

＜案内図＞



霞ヶ関ビル1階 プラザホール TEL3580-0576

霞ヶ関ビル33階 東海大学校友会館 望星の間

- ### 交通の御案内
- 地下鉄銀座線虎の門駅より徒歩5分です
 - 地下鉄日比谷線・千代田線霞ヶ関駅より徒歩7分です
 - 地下鉄丸の内線霞ヶ関駅より徒歩8分です
 - 霞ヶ関ビル駐車場完備

＜問い合わせ先＞

企画国際部 斉藤

TEL:03-5510-8592

FAX:03-3592-1103

ARIBの動き

第55回規格会議が開催される

去る9月28日、第55回規格会議がプラザホール(霞ヶ関ビル)において開催されました。

今回は、次に掲げる標準規格の改定9件及び技術資料の改定5件について審議され、全て提案のとおり承認されました。

- 1 市町村デジタル移動通信システム TYPE1 標準規格の改定
- 2 CDMA Cellular System標準規格の改定
- 3 IMT-2000 DS-CDMA System標準規格及び技術資料の改定
- 4 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料の改定
- 5 デジタル方式自動車電話システム標準規格 付録1 デジタル方式自動車電話システムの認証及び秘匿並びに加入者データ書込みに関する標準規格の改定
- 6 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定
- 7 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定

- 8 デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット標準規格の改定
- 9 補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用標準規格の改定
- 10 地上デジタル音声放送運用規定技術資料の改定
- 11 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定
- 12 BS／広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定



第55回規格会議の様子

改定された標準規格及び技術資料の改定の概要は次のとおりです。

1 都道府県・市町村デジタル移動通信システム標準規格（ARIB STD-T79 2.0版）

メーカー機器間の相互接続の確実性を確保するための適正化を図った。また、電波法関係審査基準が一部改正され、260MHz帯を用いた都道府県防災デジタル通信システムの導入が可能となったことに伴い、本標準規格で規定するシステムの対象を市町村のみから都道府県まで拡大するための機能拡張を行った。これに伴い、「市町村デジタル移動通信システムTYPE1標準規格」から標記の標準規格名称に変更した。

2 CDMA Cellular System標準規格（ARIB STD-T53 Ver.6.1）

主に2004年4月～6月に3GPP2が制定した仕様を反映する改定を行った。主な改定内容は、(1) 8k EVRC音声コーデックアルゴリズム、(2) ショートメッセージサービスプロトコル、(3) 13k 音声コーデックアルゴリズム、(4) 位置情報サービス移動機/基地局インタフェース、(5) R-UIMインタフェース、(6) SMV 音声コーデックミニマムパフォーマンス、(7) R-UIMコンFORMANCEテストの各仕様の追加である。

3 IMT-2000 DS-CDMA System標準規格及び技術資料（ARIB STD-T63 Ver.4.20及びARIB TR-T12 Ver.4.20）

平成16年6月開催の3GPP TSG第24回会合において承認されたリリース99、リリース4、リリース5及びリリース6における仕様の追加または修正を反映する改定を行った。

今回の改定の主要項目は、以下の2項目である。

- (1) 移動局のHSDPAに関するパフォーマンス試験の追加
- (2) 基地局のパフォーマンス試験の一部項目において、未規定だったRx diversity無しの条件下の規定値の付与

4 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料（ARIB STD-T64 Ver.3.10及びARIB TR-T13 Ver.3.10）

主に2004年4月～6月に3GPP2が制定した仕様を反映する改定を行った。

主な改定内容は、(1) 8k EVRC音声コーデックアルゴリズム、(2) ショートメッセージサービスプロトコル、(3) 13k 音声コーデックアルゴリズム、(4) 位置情報サービス移動機/基地局インタフェース、(5) R-UIMインタフェース、(6) SMV 音声コーデックミニマムパフォーマンス、(7) R-UIMコンFORMANCEテストの各仕様の追加である。

5 デジタル方式自動車電話システム標準規格 付録1 デジタル方式自動車電話システムの認証及び秘匿並びに加入者データ書込みに関する標準規格（RCR STD-27 付録1 K版）

製造番号（事業者コード）の追加および変更を行った。

6 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格（ARIB STD-B10 3.9版）

(1) H.222.0 | ISO/IEC 13818-1 Amendment 3 承認に伴う、TBD項目の確定、(2) タグ値拡張のための複合記述子の規定、(3) 識別子運用基準の更新、明確化、(4) デジタルコピー制御情報に係る「1世代のみコピー可」の明確化、(5) ストリーム形式識別の割り当て表の更新、(6) データ符号化方式の割り当て状況の反映、(7) カラーセル互換複合記述子に使用する副記述子に他規格の改定を反映、(8) 限定受信方式識別およびネットワーク識別の割当状況を追加、(9) 参考文献の更新、(10) 誤記修正を行った。

7 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格（ARIB STD-B32 1.7版）

9月27日に告示された平成15年総務省告示第37号改正に伴う修正を行った。主な変更は以下の2項目である。

- (1) 第3部第3章「多重信号形式」3.1「PESパケット」の別記「ストリーム識別子」に、ITU-T勧告H.222.0 Amendment 3に基づきAVC映像ストリーム（ITU-T勧告H.264）ほかのストリームを追加。
- (2) 第3部第3章「多重信号形式」3.4「伝送制御信号の構成」(2)「PMTの構

成」の、別記「ストリーム形式識別子」に、ITU-T勧告H.222.0 Amendment 3に基づきAVC映像ストリーム (ITU-T勧告H.264) を追加すると共に、ITU-T勧告H.222.0の最新の規定に沿って修正。

(8項以降の改定された標準規格・技術資料の概要は次号に掲載します。)

編集後記

ついちょっと前まで猛暑が話題になっていたのが嘘のように、すっかり秋らしくなってきました。季節の移ろいは本当に早いものですね。

我が家では、この季節になるといつもある虫が鳴き始めます。まだ姿は見たことはないのですが、「チッチッチッ・・・」とかわいい声で鳴くのです。鳴き始めてから1週間くらいで鳴かなくなるのですが、毎年この鳴き声を聞くと、もう秋かと実感してしまいます。姿を確認しようと何度か搜索を試みましたが、どうしても居場所が特定できません。どうもこちらの動きを事前に察知して移動しているようなのです。鳴き声から図鑑で調べてみると「かねたたき」という虫ではないかとは思われますが、マンションの7階に居候する虫なんて聞いたことがありません。ひょっとしたら新種かも・・・と思いつつ、残念ながら今年もついに正体を見破ることができませんでした。

(N.K)

[ページの先頭に戻る ▲](#)